



サロン活動の工夫 『 コロナ禍における活動のヒント 』

令和3年11月1日現在、猛威を振るっていた新型コロナウイルスの新規感染者数は全国的に減少傾向になり、活動を控えていた「いきいきサロン」でも、徐々に再開の声が聞かれます。

今回は、市社協CSWがコロナ禍でも活動を継続していたサロンを訪問し、そのアイデアや工夫についてお聞き取りしてまいりましたので、活動の再開に際して参考となるようご紹介いたします。



こんにちは！集いの場

利用者宅を見守りも兼ねて訪問しています。お茶菓子などをお土産にお渡ししながら少しでも立ち話。

会場が使えないため、運営者間で今後のサロン活動について話し合っていました。

スタンプラリー

利用者へスタンプカードを配付し、指定した日時と場所まで歩いてきてもらいます。来られた方のカードへスタンプを押し、屋外での談笑や軽体操を実施。スタンプが溜まったら景品と交換しています。



東屋サロン

公園の東屋を会場にサロンを開催しています。講師を招いて学習会をすることも。

終わりには公園内をぐるっと散歩して帰ります。室内でのサロン活動が心配とのお声を受けて実施しました。

時間の短縮

換気や手指消毒など感染対策を徹底し、短時間（30分～1時間）で開催しています。内容は主に脳トレクイズで、問題集を購入して皆で一緒に解きます。大きな声を出さない内容にすることがポイントです。



『いつも通りの活動ができなくても、違ったかたちならできるかも…。』コロナ禍におけるサロン活動には、地区社協事業や地域福祉活動においても参考になるアイデアや工夫がたくさんあります。今後も本紙を通じて、様々な活動を紹介していきます。



地区社協活動の紹介

協働による豊かな相川地区の実現 ～地域の支え合いプロジェクト～

相川地区では、「協働による豊かな相川地区」を実現するための(※)5つのプロジェクトを今年6月に立ち上げ、自治会をはじめ各種団体や、相川地区にお住まいの方が中心となり、地域課題の解決・改善のために取り組んでいます。

その中で、相川地区社会福祉協議会が中心となって進める「地域の支え合いプロジェクト」では、ゴミ出しや草取りなど日常生活で困っている方々を、地域の中でどのように支えていくべきかを検討しています。

10月24日の会議では「住民主体による生活支援」の実現に向け、住民ニーズを把握するためのアンケートの実施や、担い手の確保に向けた働きかけをどうすべきか等の協議が行われました。



(※)5つのプロジェクト

- 防災・減災プロジェクト
- 地域の支え合いプロジェクト
- 環境整備プロジェクト
- 移動手段の確保プロジェクト
- 子ども・青少年プロジェクト

地域で活躍している団体の紹介



NPO法人チャリティーサンタ

Charity Santa

甲府支部 2010年に活動をスタートして、今年で12年目を迎えました！

山梨県内の大学生が中心となり、クリスマスイブ（12月24日）の夜にサンタクロースとして子どもたちに「夢」と「プレゼント」を届ける活動をしています。「サンタ活動」にご協力いただいたチャリティー金は、貧困や被災など経済的に不安を抱えるご家庭の子どもたちへの支援に活用しています。クリスマスの思い出がご家族の一生の思い出となるような、そんな時間をプレゼントしたいと思って活動しています。

また、子ども向けのイベントの開催や、フードパントリーなどの地域支援も行っています。

サンタ活動…

親御さんからチャリティー金(3,000円/家庭)をいただき、お子さんへのプレゼントとメッセージをお預かりします。

クリスマスイブ当日、お預かりしていたプレゼントとメッセージをサンタクロースがお届けします！！



サンタさんをお呼びするためには…？

10月末からご依頼募集を開始予定です！（12月上旬に締切）

※ホームページをご覧ください。

チャリティーサンタ

